

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 永犬丸西 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

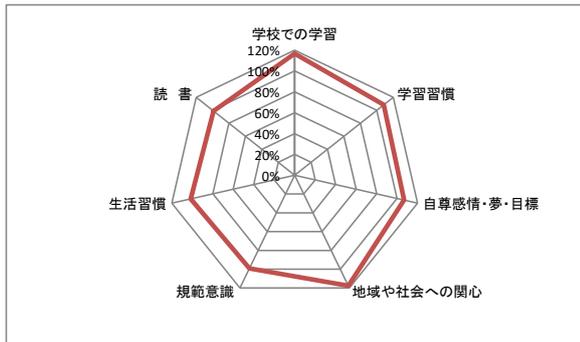
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	内容別で見ると、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均とほぼ同程度だが、「書くこと」については、全国平均を上回っている。観点別で見ると、「知識・技能」「思考・判断・表現」共に、全国平均とほぼ同程度である。	全国平均正答率との比較 同程度である
	よってきた問題	主語と述語の関係を捉える問題。自分の考えを主張する文章を書く問題。	
	努力が必要な問題	修飾と被修飾との関係を捉える問題。漢字を文の中で正しく使う問題。資料を使って話す問題。	
算数	全体的な傾向や特徴など	領域別で見ると、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」全ての領域で、全国平均を上回っている。観点別で見ると、「知識・理解」「思考・判断・表現」共に、全国平均を上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	図形の計量。(整数)÷(整数)。速さと道のりをもとに、時間を求める問題。	
	努力が必要な問題	速さを求める除法の式と商の意味を理解する問題。小数を用いた倍の意味について理解し、考え表現する問題。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会への関心が高く、学校での学習も熱心に取り組んでいる。特に自分で計画を立てて勉強したり、学習したことを生かして自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりすることができている。 ・自尊感情が高く、自分のよいところや将来の夢や目標をもっている児童が多い。 ・家庭学習の時間が全国平均より下回っている。特に、土曜日、日曜日の学習時間がかなり下回っている。 ・携帯電話やスマートフォン、コンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童は全国平均を下回っている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ・言語力を高める取り組みとして、読書の時間の確保、漢字を文の中で正しく使う練習、資料を使って自分の考えを伝える場面を多く取り入れた授業を行っていく。(国語科、社会科、算数科、理科、総合的な学習の時間を中心に) ・引き続き、ノートに自分の考えを書いたり、振り返りを書く活動を授業に位置付ける。
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ・苦手とする領域や読書・漢字学習等、家庭学習の出し方・内容の充実を図る。 ・携帯電話やスマートフォン、コンピュータの使い方についての約束、時間について、児童には健康教育や道徳の時間を使って指導する。保護者へは、ホームページ、学校通信、関係文書の配布等で啓発する。
--